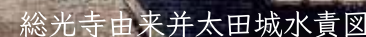


古墳時代から戦国時代の 平井周辺文化財マップ



平井遺跡は、紀の川の河口に広がる平野の北側で、和泉山脈のふもとにあります。和歌山県内でも貴重な、古墳時代(約1500年前)の埴輪窯をはじめ、様々な時代の人々の生活の跡がみつかっています。

埴輪窯は2基見つかり、天井は残っていませんでしたが、窯の中には、赤く焼けた床面が残っていました。床面は一番新しい面から下に何面も重なっており、くり返し何回も、たくさん埴輪が焼かれたようです。

平井遺跡の埴輪窯で作られた埴輪は、すぐ北にある平井1号墳や、東にある大谷古墳などに運ばれました。埴輪の生産から供給先までがよくわかる、貴重な事例です。



交通のご案内

電車

- 南海電鉄 紀ノ川駅下車。徒歩約12分

バス

- JR和歌山駅 鳴滝団地ゆき 楠見小学校前バス停
下車。徒歩約15分
- 南海和歌山市駅 川元団地ゆき
市小路バス停で下車。徒歩約5分

お車で

- 阪和自動車道 和歌山北IC (大阪方面からのみ)
から約10分
- 阪和自動車道 和歌山ICから約15分

和歌山市平井ふれあいセンター駐車場

- 車/15台
- 障害者等用駐車区画/2台

主な遺跡の時代 凡例

- 弥生時代
- 古墳時代
- 古代(奈良～平安時代)
- 中世(鎌倉～戦国時代)

0 1km

大日山 35 号墳から見つかった埴輪の集合